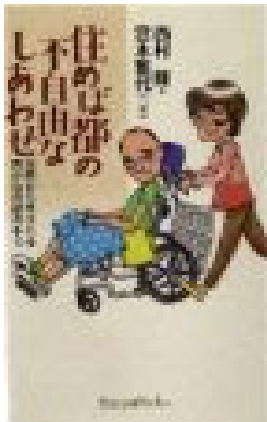


好評発売中

西村隆・宮本雅代共著



『住めば都の不自由なしあわせ』

『沈黙から生まれる豊かな対話の中で』

(いのちのことば社 1365円)

「ひざに止揚を寝かして、ミルクをあげてみたら？ 楽しいわよ、きっと」

「えっ、そんなこと、できるかな」

「できるわよ、工夫すれば」

オドオド、ビクビクしながら、ひざだけのバランスで、生後数か月の三男を支え、必死でミルクをあげる。5分、15分と過ぎるうちに、不安定なひざの上で、息子はかす

かな寝息を立てて、寝ていた。「私が初めて感じた存在の重みです」。全く無力な自分でも神さまは抱きしめてくれるという体験から、少しずつ日常の世界が違って見えてきた。

あるお正月、ほろ酔いの、80歳を過ぎた父が話し始めた。

「最近になって見るものがみんな、ピカピカ輝いて見える。一日一日が当たり前じゃなくて」。

また同じことをと、話の腰を折ろうとした母親をさえぎって、「ぼくが言いたいのは、これが隆の生きている世界じゃないかって、ふと思いついた。いい世界だ□□□」。

私の人生が苦しいだけではなくて、輝いていることも父は感じてくれた。頭で理解するのではない。私の世界を自分の世界と重ね合わせて、心と心、たましいとたましいが共鳴し合うように、「いい世界だ」と感じてくれた。

そのことに隆さんは感激する。

1997年、隆さんがALSを発病したとき、「ごめんね、ぼくが重荷になってしまった」というと、「甘いわよ。重荷になんか、ならせないないから」と雅代さんは笑って答えた。

4人の子どもを育て、外で仕事をする雅代さんは「今までどおりの日常生活を続ける中でしか、隆らしい生き方の舞台はありません」「私もしっかり自分らしく生きることをしなければ、隆に吸い込まれます。吸い込まれてしまうと、私たちの距離、関係が崩れてしまいます」と書いている。

『住めば都の不自由なしあわせ』出版感謝講演会

音楽とトークでつづる楽しいひととき

ALSを発病して17年の月 日が流れました。身体の不自由はありませんが（動けない、話せない、食べられない）、そこには色鮮やかな日常生活が繰り広げられています。そんな日常生活をそれぞれの視線で描いた『住めば都の不自由なしあわせ』の出版を記念し、感謝講演会を開催します。

皆さまのご来場を心よりお待ちしております。
芦屋ユニオンアンサンプルのリコーダーと鍵盤ハーモニカによるぬくもりのある音楽をお楽しみください。

＊ ＊ ＊

日時 2014年3月21日（金 祝日） 14時～15時半 （13時半開場）

場所 大阪クリスチャンセンター2F 多目的ホール

大阪市中央区玉造2丁目 26 47
入場料 前売り500円 当日700円 定員100

名

<当日プログラム>

・スピーチ「ALS患者の現状と課題」

日本ALS 協会近畿ブロック事務局長 水町真知子さん

・特別演奏 芦屋ユニオンアンサンプル

神村幸江さん、西崎節子さん、福本葉子さん

＊兵庫県教職員組合芦屋支部教育研究委員会リコーダー部会に所属。

・講演 「鏡の向こうに見えるもの」

西村 隆さん、宮本雅代さん

主催『住めば都の不自由なしあわせ』出版記念感謝講演会・実行委員会

協賛・お問い合わせ いのちのことば社出版部

tel.03-5341-6920 fax.03-5341-6921 e-mail:publish@wlpn.or.jp

後援・チケット取扱い

大阪クリスチャンセンター tel.06-6762-7701 fax.06-6762-9885

協力・チケット取扱い
オアシス梅田店、大阪キリスト教書店、堺キリスト教書店、神戸キリスト教書店、ジョイフルBooks&Gift

